

ご挨拶

令和5年も残り僅かとなりました。

本年6月より会長を拝命いたしました井桁正昭です。

協会活動も順調活発に行われており、皆様には御礼を申し上げます。

コロナ禍もようやく終息が見えてまいりました。各所で懇親会も行われるようになり、以前の日常を取り戻しつつあるように思います。建築資材の高騰や人材の不足に加え、頻繁に改正される建築基準法への対応など、建築事務所を取り巻く情勢は、息つく間もない有様です。



『変化はチャンス』今、私は、このことを思うのです。

最も強い者が生き残るのではなく

最も賢い者が生き延びるものでもない。

唯一生き残るのは、変化出来る者である。

チャールズ・ダーウィン

コロナ禍も変化する能力が試されていると思います。変化すると言っても、むやみに変化するものではありません。悪しき慣習でも場合によっては、一旦順応し変化の機会を伺うのです。ここぞと思ったときは毅然として行動するのです。

本会も50年の歴史があり、歴代会員がご苦労され今日まで繋げていただいております。この重みをしっかりと受け止め次の50年に向けてアクションしてまいります。

-----私は、三つの目標を掲げます。-----

1番は、会員増強です。会員数の減退に団体の将来は、ありません。未入会の建築士事務所へは、入会の誘いをいたしましょう。そして私たち会員一人一人がどんなきっかけで入会し、今日まで継続しているかをお話ください。自身の体験を聞かせて上げてください。情報交換、会員同士の交流の様子を聞かせて上げてください。講習会など『誘われる側から誘う側へ』となつていただけるよう勧誘いたしましょう。私も朝な夕なに意識して実行してまいります。

2番は、青年と女性が活躍できる団体づくりです。ある日の青年委員会に同席させていただきましたが、素晴らしい討議が交わされておりました。本会の将来のビジョンが浮かび上がる具体的で現実的な議論にすっかり感心させられてしまいました。本会の将来を託すに相応しい人材と感じました。青年の育成に力を注いでまいります。

本年の全国大会は、鳥取・島根が会場でした。前大会から始まり、本大会で2回目となる女性交流会にオブザーバー参加させていただきました。全国から集った女性建築士による活発な討議を目の当たりにし、感激いたしました。来年の福井大会には、ぜひ千葉会からも何名か参加していただけたらと思って拝見しておりました。

3番は、会員相互の互恵と自立の調和から生まれる信頼関係を養い、安心と生産の会運営を目指します。

本会は、50年の歴史を持つ県内唯一の業務団体です。業務団体とは、建築を業とするプロフェッショナルの集団です。建築士の業務は、建築主や業務の依頼者に満足を与えることは元より、時には想定を超える感動を与えることで依頼者の人生を変え、自らの人生を変えてまいります。建築とはそのような力があるのです。数多ある職業の中でも建築は別格です。会員の皆様には、是非会員相互の交流を通して学び合い、本会の会員であることを十二分に謳歌していただきますようお願いいたします私の挨拶といたします。

公益社団法人 千葉県建築士事務所協会
会長 井桁 正昭